

フィンドレー大学への交流留学 月例報告書9月分

留学生活も2ヶ月が経とうとしています。9月の活動報告書は授業について、授業後の過ごし方についてこの2つに関して報告していきます。

IELPの授業は日本人が多くて嫌だという気持ちを切り替えて頑張っていますが、授業内容が少し簡単すぎるのではないかと思います。三単現のSについてなどそんなことももう知っているよと思うような内容の授業には少し残念です。また、Readingの授業ではクラスメイトと協力して画用紙で理想の町をつくろうという内容で特に英語を使うことなく1ヶ月が過ぎたので先生に「簡単すぎる」と伝えましたが今後どうなるのかまだわかりません。先生にもよりますが、先生が以前教えていた生徒を授業に招きずっと喋っているなど日本ではありえない授業もあるので毎日驚きの連続です。こちらの先生も何か意図がありこの授業をしているのかと思いますが授業内容については満足しているとは言えない状況です。宿題も多いときと少ないときの差が激しいですが、無理なくこなせる量なので授業で特に困ったことはありません。せっかくアメリカまで来ているのでここでしか学べない英語の勉強をしたいと期待していましたが、英語の勉強は日本でやっていることとさほど変わらないです。この半年で早く英語力を伸ばして次の学期には学部の授業が取れるように頑張りたいです。

授業外について、授業終わりには友達の家に行って宿題をやっています。やはり、学部の授業はたくさんの宿題とテストがあるようで大変そうです。宿題が一区切りついたら、動画ストーリーミングサービスで映画を見ます。私が想像していたよりもずっと田舎の大学だったので車がないとどこにもいきません。友達も宿題で忙しいので車をだしてもらい遊びに行くというのが難しいです。バスも電車もタクシーもないので交通手段がないのが本当に大変です。それでもシダーポイントという遊園地やホーンテッドハウスというお化け屋敷に連れて行ってくれるなど優しい友達に恵まれて嬉しく思います。寮の談話室で友達のお誕生日をお祝いしたときには真っ赤なケーキを食べたり、友達のおばあちゃんが誕生日だと聞くとみんなでおばあちゃんが働いているホームセンターまで会いに行きバースデーソングを歌うなど日本ではないような体験もしました。アメリカ人は私たち日本人よりも家族を大切にす文化があり、とても素敵だと思います。

また、不安で日本人同士で一緒に行動したい気持ちを乗り越えて、興味のあるクラブ活動に一人で参加したら、初回の活動で留学生だと自己紹介をしても容赦のないスピードで話す人たちや、レクリエーションとしてまったく分からないアメリカのクイズに参加しなければならなかった地獄のような時間を過ごしました。1ヶ月いてまだまだだなぁとおっもい知らされましたが1人で行動したことをまず自信にしたいと思いました。毎日「今日

は全然友達の話が聞き取れなかったな。」「あの時、英語でうまく喋れなかったな。」と反省の連続です。時々一人の時間をつくるなど息抜きをしながら少しずつ成長できるように頑張っています。



アメリカ人の友達のお誕生日会
寮の談話室でお祝いました
真っ赤なケーキの味は普通においしかったです。



リーダーシッププログラムでインディアナ州へ
行きました。ハロウィンの装飾が綺麗でした。